

令和6年度事業報告書

令和6年5月9日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人tanagocoro

1 事業実施の方針

家庭内や学校内で安心して過ごすことができにくい子どもたちへ安心できる居場所の提供やひとり親に対して困っている事や悩み事を傾聴し解決に向かうサポートをしていく事で健全な社会生活を送ってもらう。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従業者の予定 人数	受益対象者の範 囲及び人数	支出額 (円)
フリースクール 事業	不登校や引きこ もりの子供たち の居場所の提供	通年	フリースク ール岡山	3名	岡山市内におけ る不登校児童 10 名	312,300 円
24 時間体制の 未成年者の居場 所提供事業	居場所のない若 者の安心できる 場所の提供	通年	岡山市内	2名	家に居場所がな い未成年者 2名	300,952 円
育児・子育て・家 庭生活に関する 普及及び支援事 業	育児や子育て、そ の他生活全般に おいて心配事が ある人へ講演活 動や相談場所の 提供を行う	通年	岡山市内公民 館・法人事務 所内	1名	子育てや家庭生 活等に何らかの 不安や悩みを抱 えている保護者又 は家族 20名	0 円
ひとり親支援事 業	子育てに困ってい るひとり親への 支援	通年	法 人 事 務 所 内・岡山市内 各ご家庭	1名	子育てや生活して 行く上で困りご とがあるひとり 親 20名	0 円
発達障害児に対 する健康増進事 業	発達に不安のあ る子供に向けて 体をほぐし気持 ちを安定する整 体を実施	通年	法人事務所内	2名	軽度重度に関わ らず発達障害と 思われる子ども 30名	55,000 円
デートDV・DV に関する普及及 び支援事業	DV に関する講演 や情報発信、相談 場所の提供	通年	岡山市内・法 人事務所内	1名	DV に悩んでいる 男女 30名	0 円

令和 6 年度 活動計算書

令和6年5月9日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人tanagocoro
(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費			
2. 受取寄附金 受取寄附金 施設等受入評価益	1036335	1036335	
3. 受取助成金等 受取民間助成金			
4. 事業収益 ひとり親事業収益	3000	3000	
5. その他収益 受取利息 雑収益			
経常収益計			1,039,335
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費 給料手当 法定福利費 退職給付費用 福利厚生費			
人件費計			
(2) その他経費 地代家賃 通信費 備品 消耗品 広報費 水道光熱費 謝礼金	385,300 48,500 68,300 29,652 36,500 98,000 2,000		
その他経費計			
事業費計		668,252	668,252
2. 管理費			
(1) 人件費 役員報酬 給料手当 法定福利費 退職給付費用 福利厚生費			
人件費計			
(2) その他経費 地代家賃 通信費 水道光熱費 備品 消耗品 会議費 減価償却費 支払利息	33,000 10,500 28,330 17,333 13,242 20,000 2,530		
その他経費計			
管理費計		124,935	
経常費用計			793,187
当期経常増減額			
III 経常外収益			

経常外収益計			
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			
経常外費用計			
税引前当期正味財産増減額			246,148
法人税、住民税及び事業税			
当期正味財産増減額			246,148
設立時正味財産額			35,100
次期繰越正味財産額			281,248

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「一般正味財産の部」と「指定正味財産の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)

I 経常収益

1. 受取寄附金

受取寄附金振替額

II 経常費用

2. 事業費

援助用消耗品費

(指定正味財産増減の部)

受取寄附金

一般正味財産への振替額

令和6年度 貸借対照表

令和7年3月31日現在
特定非営利活動法人 tanagocoro
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	281,248		
未収金			
流動資産合計		281,248	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計			
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計			
(3) 投資その他の資産			
敷金			
投資その他の資産計			
固定資産合計			
資産合計			281,248
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
前受民間助成金			
流動負債合計			
2. 固定負債			
長期借入金			
退職給付引当金			
固定負債合計			
負債合計			0
III 正味財産の部			
設立時正味財産		35,100	
当期正味財産増減額		246,148	
正味財産合計			281,248
負債及び正味財産合計			281,248

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「III 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

- I 資産の部
 - 1 流動資産
- II 負債の部
- III 正味財産の部
 - 1 指定正味財産
 - 指定正味財産合計
 - 2 一般正味財産
 - 一般正味財産合計

計算書類の注記

以下に示すものは、想定される注記を例示したものです。該当事項がない場合は記載不要です。

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

(2) 固定資産の減価償却の方法

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算して

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。

また計上額の算定方法は「4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(5) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2 会計方針の変更

3 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	フリースクール事業費	24時間体制の未成年の	ひとり親支援事業費	発達障害児に対する健	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費							
2. 受取寄附金	500,000	300,952		55,000		180,383	1,036,335
3. 受取助成金等							
4. 事業収益			3,000				3,000
5. その他収益							
経常収益計							
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当							
臨時雇賃金							
謝礼金	2,000						
人件費計							
(2) その他経費							
地代家賃	180,000	173,500		31,800		33,000	418,300
通信費	22,600	21,800		4,100		10,500	59,000
水道光熱費	11,700	15,000		8,300		28,330	128,330
備品	25,500	36,200		6,600		17,333	85,633
消耗品	13,800	13,452		2,400		13,242	42,894
広報費	23,700	11,000		1,800			36,500
会議費						20,000	20,000
支払利息						2,530	2,530
その他経費計							
経常費用計	312,300	300,952		55,000		124,935	793,187
当期経常増減額							

4 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法

5 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳
(単位：円)

内容	金額	算定方法

6 使途等が制約された寄附金等の内訳
使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計					

7 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品						
無形固定資産						
投資その他の資産						
合計						

8 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金				
役員借入金				
合計				

9 役員及びその近親者との取引の内容
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄附金		
委託料		
活動計算書計		
(貸借対照表)		
未払金		
役員借入金		
貸借対照表計		

10. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 現物寄附の評価方法
- ・ 事業費と管理費の按分方法
- ・ 重要な後発事象
- ・ その他の事業に係る資産の状況

様式例（法第28条第1項「前事業年度の財産目録」）

令和6年度 財産目録
令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人tanagocoro
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	281,248		
流動資産合計		281,248	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
有形固定資産計			
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計			
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計			
固定資産合計			
資産合計			281,248
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
預り金			
流動負債合計			
2 固定負債			
固定負債合計			
負債合計			0
正味財産			281,248

前事業年度の年間役員名簿

(令和6年5月9日から令和7年3月31日)

特定非営利活動法人tanagocoro

№	役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就 任 期 間	報酬を受けた 期 間
1	理事長	信谷奈保子		R6年5月9日 ～ R7年3月31日	なし
2	副理事長	永井早弥香		R6年5月9日 ～ R7年3月31日	なし
3	理事	竹内裕子		R6年5月9日 ～ R7年3月31日	なし
4	理事	元島ひとみ		R6年5月9日 ～ R7年2月28日	なし
5	監 事	渡邊美由紀		R6年5月9日 ～ R7年3月31日	なし
6	監 事	須藤由起枝		R6年5月9日 ～ R7年3月31日	なし
7	監 事	今城真人		R6年5月9日 ～ R7年3月31日	なし

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員の住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。